



2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年11月12日

上場会社名 天昇電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤本 健介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 沼口 和成

TEL 03-6805-2577

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	10,391	△24.0	182	△37.4	261	△15.5	△75	—
2025年3月期中間期	13,667	6.4	291	△42.0	309	△57.4	174	△69.2

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △516百万円 (—%) 2025年3月期中間期 801百万円 (△18.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△4.42	—
2025年3月期中間期	10.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	21,737	10,094	46.4
2025年3月期	22,118	10,624	48.0

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 10,094百万円 2025年3月期 10,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期 (予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,000	△21.1	600	△34.1	600	△43.0	200	△84.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社（社名） 、 除外 ― 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	17,014,000 株	2025年3月期	17,014,000 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	86 株	2025年3月期	86 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	17,013,914 株	2025年3月期中間期	17,013,914 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象に関する注記)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかな回復が見られます。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。このような状況下、当社グループは引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善、生産効率の向上及び原価低減に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高103億91百万円(前年同期比24.0%減)、営業利益1億82百万円(前年同期比37.4%減)、経常利益2億61百万円(前年同期比15.5%減)、親会社株主に帰属する中間純損失75百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1億74百万円)となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

日本成形関連事業では、前年の第2四半期まで自動車業界における生産調整の影響を受けておりましたが、その後回復基調となっております。また、新車種部品の受注に伴い当連結会計年度においては経費が先行することとなります。この結果、売上高99億96百万円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益77百万円(前年同四半期比47.2%増)となりました。

中国成形関連事業

中国成形関連事業では、引き続き物流産業資材及び機構品部品の販売拡大に努めております。この結果、売上高2億52百万円(前年同期比17.1%減)、セグメント損失2百万円(前年同期はセグメント損失3百万円)となりました。

不動産関連事業

相模原市の賃貸建物、二本松市所在の土地から構成されております。売上高1億42百万円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益1億23百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

2025年1月に当社の連結子会社であった三甲アメリカコーポレーションが実施した第三者割当増資により、同社は持分法適用会社に移行し、当社の連結範囲から外れております。このことにより、当中間連結会計期間より「アメリカ成形関連事業」を報告セグメントから除外し、「その他事業」に含めております。なお、「アメリカ成形関連事業」の前中間連結会計期間におけるセグメント情報は、売上高34億70百万円、セグメント利益1億16百万円となります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当中間連結会計期間末の総資産は、217億37百万円(前連結会計年度末比3億80百万円減)となりました。

流動資産は、現金及び預金35億43百万円(前連結会計年度末比2億45百万円増)、受取手形及び売掛金30億4百万円(前連結会計年度末比2億89百万円増)等により95億45百万円(前連結会計年度末比6億69百万円増)となりました。

固定資産は、有形固定資産84億10百万円(前連結会計年度末比5億18百万円減)、投資その他の資産36億83百万円(前連結会計年度末比5億12百万円減)等により121億92百万円(前連結会計年度末比10億49百万円減)となりました。

②負債

負債合計は、116億43百万円(前連結会計年度末比1億49百万円増)となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金18億68百万円(前連結会計年度末比45百万円減)、電子記録債務27億94百万円(前連結会計年度末比51百万円増)等により80億20百万円(前連結会計年度末比22百万円減)となりました。

固定負債は、長期借入金27億42百万円(前連結会計年度末比2億40百万円増)等により、36億23百万円(前連結会計年度末比1億71百万円増)となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純損失の計上、為替換算調整勘定の変動等により100億94百万円(前連結会計年度末比5億30百万円減)となりました。

④キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億45百万円増加し、35億43百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは9億53百万円の収入(前年同期9億21百万円の収入)となりました。主な要因は、減価償却費8億81百万円の計上、持分変動損益2億58百万円の計上、売上債権の増加3億20百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは7億71百万円の支出(前年同期13億49百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出6億72百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは93百万円の収入(前年同期14億8百万円の収入)となりました。主な要因は、長期借入れによる収入11億円、長期借入金の返済による支出8億27百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日付「2025年3月期 決算短信」において公表いたしました連結業績予想を修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「2026年3月期中間期連結業績予想と実績との差異及び、2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,298	3,543
受取手形及び売掛金	2,755	3,045
電子記録債権	1,308	1,335
製品	515	584
仕掛品	132	115
原材料	738	759
その他	126	162
流動資産合計	8,876	9,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,483	2,409
機械装置及び運搬具(純額)	1,728	1,521
土地	2,782	2,782
その他(純額)	1,935	1,696
有形固定資産合計	8,929	8,410
無形固定資産	117	98
投資その他の資産		
投資有価証券	3,983	3,509
その他	230	191
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	4,195	3,683
固定資産合計	13,242	12,192
資産合計	22,118	21,737
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913	1,868
電子記録債務	2,742	2,794
1年内返済予定の長期借入金	1,486	1,518
未払法人税等	34	104
賞与引当金	265	276
その他	1,599	1,457
流動負債合計	8,042	8,020
固定負債		
長期借入金	2,501	2,742
退職給付に係る負債	223	227
その他	726	653
固定負債合計	3,451	3,623
負債合計	11,493	11,643

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	7,258	7,098
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,627	9,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270	306
為替換算調整勘定	726	320
その他の包括利益累計額合計	997	627
純資産合計	10,624	10,094
負債純資産合計	22,118	21,737

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,667	10,391
売上原価	11,671	8,530
売上総利益	1,996	1,860
販売費及び一般管理費	1,704	1,677
営業利益	291	182
営業外収益		
受取利息	66	22
受取配当金	7	8
為替差益	—	4
持分法による投資利益	—	3
受取補償金	27	40
その他	24	24
営業外収益合計	126	104
営業外費用		
支払利息	45	22
為替差損	60	—
その他	2	3
営業外費用合計	108	25
経常利益	309	261
特別利益		
関係会社株式売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
持分変動損失	—	258
特別損失合計	0	259
税金等調整前中間純利益	311	2
法人税等	108	77
中間純利益又は中間純損失(△)	203	△75
非支配株主に帰属する中間純利益	28	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	174	△75

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	203	△75
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	35
為替換算調整勘定	629	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△477
その他の包括利益	598	△441
中間包括利益	801	△516
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	542	△516
非支配株主に係る中間包括利益	258	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	311	2
減価償却費	1,103	881
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	11
受取利息及び受取配当金	△74	△31
支払利息	45	22
為替差損益(△は益)	71	3
持分法による投資損益(△は益)	—	△3
持分変動損益(△は益)	—	258
有形固定資産除却損	0	0
関係会社株式売却損益(△は益)	△1	—
売上債権の増減額(△は増加)	△442	△320
棚卸資産の増減額(△は増加)	66	△74
仕入債務の増減額(△は減少)	55	10
未収入金の増減額(△は増加)	△28	△16
未収消費税等の増減額(△は増加)	4	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	11	63
その他	70	145
小計	1,192	951
利息及び配当金の受取額	74	31
利息の支払額	△45	△22
法人税等の支払額	△318	△8
法人税等の還付額	18	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,293	△672
無形固定資産の取得による支出	△74	△5
関係会社株式の取得による支出	—	△100
関係会社株式の売却による収入	17	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△0	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,349	△771

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,485	1,100
長期借入金の返済による支出	△862	△827
リース債務の返済による支出	△128	△100
配当金の支払額	△85	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,408	93
現金及び現金同等物に係る換算差額	169	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,148	245
現金及び現金同等物の期首残高	5,258	3,298
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,407	3,543

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,750	304	142	10,197	3,470	—	13,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	4	—	25	—	△25	—
計	9,771	309	142	10,223	3,470	△25	13,667
セグメント利益 又は損失(△)	52	△3	124	173	116	2	291

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,996	252	142	10,391	—	10,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16	—	16	△16	—
計	9,996	268	142	10,407	△16	10,391
セグメント利益 又は損失(△)	77	△2	123	198	△15	182

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。3. 報告セグメントの変更等に関する事項
(報告セグメントの変更)

2025年1月に当社の連結子会社であった三甲アメリカコーポレーションが実施した第三者割当増資により、同社は持分法適用会社に移行し、当社の連結範囲から外れております。このことにより、当中間連結会計期間より「アメリカ成形関連事業」を報告セグメントから除外し、「その他事業」に含めております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。また、当中間連結会計期間における「その他事業」は売上高、セグメント利益又は損失(△)は発生していないことから記載を省略しております。

（1株当たり情報の注記）

項目	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
1株当たり中間純利益	10円25銭	△4円42銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する中間純利益（百万円）	174	△75
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益 （百万円）	174	△75
普通株式の期中平均株式数（千株）	17,013	17,013

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象に関する注記）

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。